

一般質問

枝 久
議員

- 一、下水道事業接続状況と2期工事について
二、市民病院・診療所あり方検討委員会について

質問

答 弁

一、(1)平成21年度から始まる2期工事に対する見通しは、今年度中ではなく今年中に結論を出さないといけないと思うが、工事は当初の計画どおりに進めるのか。(2)接続が少なく財政的に終末処理場の運営等に支障が生じたとき、使用者の負担が増える可能性はないか。

二、人工透析を受けている方々を重要課題であるとの認識の中で質問します。今後の経営形態として、直営方式、診療所、指定管理者制度、民間委譲等をはじめ、廃止も含めた中から、市長が選び、あり方検討委員会に提案することとなっていた。あり方検討委員会では、病院の規模や経営形態が議論の焦点となり、体質改善に加え、医師の安定確保や3年後に控えた療養病床の再編問題にどう対応するのが重要課題となりま

一般質問

橋 高
議員

- 一、地元建設業の振興について
二、今福地域の振興について

質問

答 弁

一、地元業者は納税や雇用の面だけでなく、災害時の緊急対応、各種ボランティア活動の実施等地域への貢献も大きいものがある。業界の要望もしっかり踏まえて、育成振興を図るべきである。市の入札制度で、注視すべきは平均落札率だけでなく、最低落札率である。企業努力は求めるべきだが、仕事を請けて赤字になるような事態は、あってはならない。市の今後の方針について伺いたい。

二、合併による鷹島、福島との連携の緊密化や伊万里への大企業進出、鷹島肥前大橋の開通に伴う物流の変化等、今福を取り巻く環境は大きく変わり、また変わろうとしている。これをチャンスと捉えて地域の振興を期すべきだが、前提でもあるインフラの整備等永年の懸案事項がなかなか進展しない状況である。一例として、今福港の公衆トイレの建て替えはいつ実現するのか伺いたい。

一、建設業は市内の重要産業であり、このことについては、今後も意を配ってまいりたい。現在導入している変動型による最低制限価格は継続したいと考えている。工事の品質、競争の原理、市内建設業の健全な発展等については、十分考慮していかなければならないと考えており、今後の入札状況等を見守りながら、協議、検討を重ねて、よりよい方向を見出していきたい。

二、トイレについては、東部交流センターの問題とは切り離したいと考えている。船着き場周辺に、船券売場、待合所とセットにして整備することで、今年度計画を立て、来年度事業実施をする方向で、具体的な検討に入っているとところである。

一、(1)公共下水道事業計画を市民に示しているので、事業自体は進めていかなければならない。しかし、大変厳しい財政状況であり、第2期事業としては、3月定例会で示したとおり、上志佐、庄野、岸浜地区及び文化会館周辺の約40ヘクタールについて、事業認可を取得する準備を進めている。(2)終末処理場は供用開始したばかりであり、現在のところ、使用料増減については考えていない。

二、(1)市の病院、診療所が担うべき役割、機能によって経営形態の選択肢も変わってくることから、委員会の議論の方向性が実行可能となるような経営形態を考えてまいりたい。従って、存続ありきではなく、市民が住みなれた地域で、健康で安心して暮らせるように、必要な医療を安定的、継続的に受けられる地域であるために、公立病院としての役割があるかないかの議論をしていただいている。ただ、相当数の患者様がおられる中で、現段階では廃止という議論をしていく考えはない。(2)平成19年度の決算見込みで、累積欠損金は10億1千990万円である。

